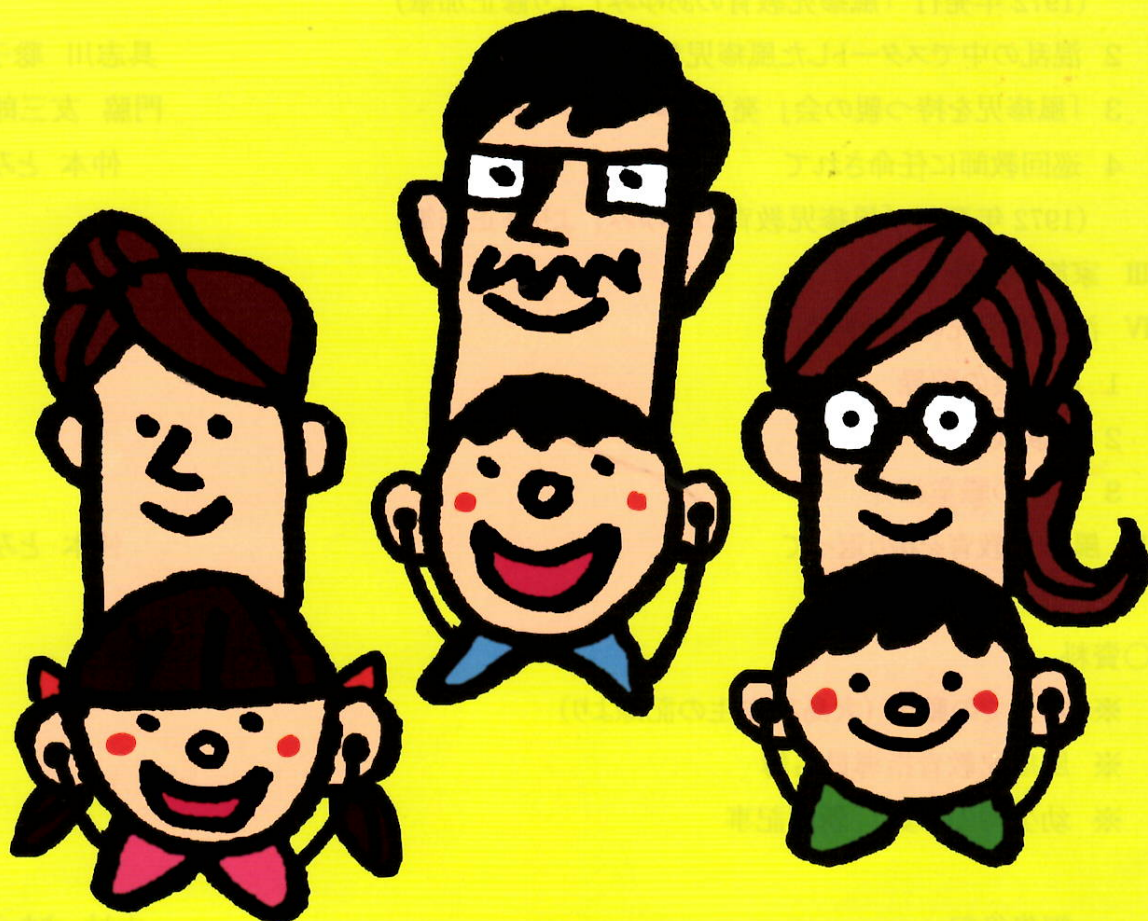


聞こえない世界に生きて

～沖縄風疹児 55 年間の軌跡～



「沖縄風疹聴覚障害教育を記録に残す会」発行

1964年から1965年にかけて沖縄で風疹が流行し、
その風疹ウィルスに多くの母親たちが感染した。
そして生まれた400名を超す風疹児たち、
今では50歳半ばを迎えている。

その後開発された風疹ワクチンにより撲滅する
だろうと思われた「風疹」だが未だに発生が続いている。
この本を通して、この沖縄で起きた55年前の事実を
風化させることなく記録に残し次代につなげていく。
聞こえない世界に生きてきた沖縄風疹聴覚障害者の
足跡と今の声に耳を傾けてほしい。

記録に残す会代表 木村まち子

9月
発刊予定